

システム生命学府・システム生命科学専攻カリキュラム・マップ

凡例

科目区分

必修科目	基礎科目	専門科目	演習科目	研究指導
必修科目	基礎科目	専門科目	演習科目	など
			など	

(再掲は薄色表示)

学修目標				博士1年				博士2年				博士3・4・5年				
区分	コア・コンピテンス	1-2年次課程 ディプロマポリシー	3-5年次課程 ディプロマポリシー	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	博士1年～ 博士2年3Q	4Q	博士3年	博士4年	博士3年～ 博士4年	博士5年
D. 実践	D-2:課題発見・解決力	自ら課題を見つけ、他者と連携して、統合学際的な解決法を探ることができる。	社会的に意義ある課題を見だし、それを念頭に置いて自らの研究を位置づけるとともに、他者と柔軟に連携して、リーダーシップを発揮して、その解決法を探ることができる。	特別研究				特別研究				修士相当論文	博士論文指導演習			
	D-1:学術的なコミュニケーション力	自らの研究成果を正確かつ魅力的に他者に伝えるプレゼンができ、研究報告や論文発表を通して他の研究者と学術的な議論ができる。	複数の言語で研究報告や論文発表を行い、他の研究者と高度に学術的な議論ができる。	生命倫理学				基礎科目					領域講究			
C-2. 分析・創造 (技能II) 評価・創造	C-2-3新しい知見の創出	研究で得られたデータから仮説を導くことができる。	研究で得られたデータから導いた仮説をもとに、新たな発想や発見に結びつけることができる。	特別演習I				特別演習II				修士相当論文	学際開拓創成セミナーI			
	C-2-2:実験事実を用いた仮説導出能力、文書(計画書・報告書・論文など)作成技能	得られた実験結果を総合し、論理的に考察を加えることができ、明瞭かつ説得的な文書、論文を作成できる。	研究テーマに広く関連する知識・データ・情報を独自の形で結びつけ、体系づけることができる。	特別演習I				特別演習II					学際開拓創成セミナーII			
	C-2-1:専門分野をはじめ関連する知や情報を結びつける技能	研究テーマに広く関連する知識・データ・情報の関係性を分析して関連づけることができる。	研究テーマに広く関連する知識・データ・情報の関係性を分析して関連づけることができる。	専門科目				専門科目								
C-1. データ構築 (技能I) 適用・分析	C-1-2:調査・実験の技能	研究を通して、生命科学に関連した自らが関わる分野に必要な実験手技を身に付け、それを必要に応じて活用することができる。		生命倫理学				専門科目								
	C-1-1:データ収集技能	フィールド調査、資料調査、実験などを通じて、自らの研究に必要なデータ・情報を収集し、整理することができる。	フィールド調査、資料調査、実験などを通じて、自らの研究に必要なデータ・情報を収集し、それを理論的、体系的に整理することができる。	特別演習I				特別演習II				修士相当論文	領域講究			
B. 知識・理解	B-2:関連分野の知識(統合学際性の観点)	生物学を主とする分野とする学生	関連する情報学、工学分野の研究を理解するための基本的知識を理解して、説明することができる。	基礎科目				基礎科目					領域講究			
		工学、情報学を主とする学生	生物学の研究を理解するための基本的知識を理解して、説明することができる。	基礎科目				基礎科目				領域講究				
	B-1:専門分野の知識	生命および生命を扱う研究や技術開発において守るべき倫理についての知識を理解して、実際に遵守することができる。		生命倫理学				生命倫理学				領域講究				
		説明身が専門とすることができる分野の知識を理解し、	生命に関する種々の情報の解析に関する知識を理解し、説明することができる。	専門科目				専門科目				領域講究				
A. 主体性・協働	A-3:協力・リーダーシップ	他者と協力し、リーダーシップを発揮して作業(演習、調査、実験等)に取り組むことができる。	他者と協力し、リーダーシップを発揮して作業(演習、調査、実験等)に取り組み、自らの企画、発想の実現を図ることができる。	特別演習I				特別演習II				修士相当論文	学際開拓創成セミナーI			
	A-2:生命科学の包括的理解と現代的課題への関心	生命に対する包括的な理解に基づいて、種々の社会的問題、現代的課題に目を向けることができる。	生命に対する包括的な理解に基づいて、種々の社会的問題、現代的課題に目を向け、それに対して積極的に取り組もうとすることができる。	基礎科目				専門科目					領域講究			
	A-1:研究や課題に取り組む姿勢	実験で得られたデータをもとに考察を加えて自ら問題を創出することができる。	自主的に自身の研究や課題に取り組む、独自の発想や知見を論理的かつ帰納法的に評価しようとする。	特別演習I				特別演習II								
区分	コア・コンピテンス	1-2年次課程 ディプロマポリシー	3-5年次課程 ディプロマポリシー	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	博士1～ 博士2年3Q	4Q	博士3年	博士4年	博士3年～ 博士4年	博士5年
学修目標				博士1年				博士2年				博士3・4・5年				
アセスメント・プラン				学修目標達成度調査				学修目標達成度調査				学修目標達成度調査				